

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 ムトー精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7927 URL http://www.muto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 肇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当 (氏名) 金子 貞夫 (TEL) 058(371)1100
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,123	9.4	951	—	942	—	787	—
29年3月期第2四半期	11,993	1.7	80	—	△23	—	△63	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,046百万円(—%) 29年3月期第2四半期 △1,338百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	109.55	—
29年3月期第2四半期	△8.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	25,808	12,434	45.3
29年3月期	23,305	11,387	46.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 11,700百万円 29年3月期 10,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,600	6.4	1,300	134.9	1,200	78.4	1,000	246.5	139.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	7,739,548株	29年3月期	7,739,548株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	552,734株	29年3月期	552,649株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	7,186,876株	29年3月期2Q	7,186,899株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀の各種政策効果、災害復旧や五輪関連需要に伴い緩やかな回復を維持しております。底堅い企業業績を背景に、人手不足に伴う省力化投資など設備投資が活発化する一方、雇用・所得環境は改善を持続しており、個人消費は緩やかな回復基調となっております。

世界経済におきましては、米国の政策運営や北朝鮮情勢などによる為替・金融資本市場への影響に警戒感が残るものの、企業業績、所得環境は改善し、総じて回復傾向となっております。米国の景気拡大が続く中、経済減速が懸念される中国では、公共投資の拡大や金融緩和など各種の政策支援により内外需要が回復し、安定した成長を続けております。また、世界的なIT需要の回復を背景に、韓国・台湾を中心としたアジア新興国の景気において持ち直しの兆しが見られました。

当社を取り巻く業界において、自動車関連では、米国、欧州及び中国の新車販売が減速基調にある中、国内では、減速感はあるものの、燃費不正問題の影響を受けた軽自動車販売が持ち直し、PHEVやEVなどの次世代自動車や好調なSUVをはじめとした新型車導入などにより新車販売は増加傾向が続いております。白物・小物家電市場においては、インドやインドネシア、ベトナムをはじめとした東南アジアの需要が堅調に拡大し、インバーター化製品が普及する一方、国内においては、買い替え時期を迎えたエアコンや冷蔵庫、薄型テレビの販売が好調に推移しております。ヘルスケア機器関連においては、生活水準の向上による健康志向の高まりや生活習慣病の増加に伴う医療ニーズを背景に、中国や中南米、ロシアなど新興国でも需要が高まっており、市場は堅調に拡大しております。また、クラウド化、IoTや自動車など用途の多様化により世界的にIT需要が回復を続けております。

このような経済環境の中、当社グループにおきましては、主要セグメントでありますプラスチック成形事業が売上を伸ばし、主力製品の自動車関連部品をはじめ、電子ペンやヘルスケア機器などが順調に受注を確保しております。また、継続的な低コスト構造の構築及び財務体質の強化により売上原価率が81.5%と前年同四半期と比べ5.6ポイント改善しております。一方、為替相場が比較的安定して推移したことにより損益に与える影響は少なく、その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は131億2千3百万円と前年同四半期と比べ11億3千万円(9.4%)の増収、営業利益は9億5千1百万円(前年同四半期は営業利益8千万円)、経常利益は9億4千2百万円(前年同四半期は経常損失2千3百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億8千7百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失6千3百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、前連結会計年度に引き続き主力製品のエアコンパネルやステアリングスイッチ、ECUなどの自動車向け部品、スマートフォン新型モデル向けをはじめとした電子ペンが牽引し、加えて、海外拠点のムトーベトナムCO.,LTD.の血圧計及びミラーレスカメラや一眼カメラ、デジタルカメラ部品、豊武光電(蘇州)有限公司においてもカメラ関連部品が順調に売上を伸ばしております。また、中国・東南アジアにおけるプリンター業界の回復基調及び得意先による生産拠点のベトナム移管に伴いムトーテクノロジーハノイCO.,LTD.においてレーザープリンター、インクジェットプリンター部品の売上が増加しております。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて119億2千2百万円と前年同四半期と比べ10億8千3百万円(10.0%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は9億3千8百万円と前年同四半期と比べ8億4千5百万円(904.6%)の増益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、総合的な市場の縮小により、デジタルカメラやカーオーディオなどの精密部品は新規案件が減少傾向にあり、厳しい価格競争が続いております。また、主要材料のステンレスやアルミニウムの価格高騰に加えて、リン青銅材の供給不足・納期遅れが収益を圧迫し付加価値が減少しております。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて11億1千7百万円と前年同四半期と比べ3千6百万円(3.4%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)1千8百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計部門は、前連結会計年度において売上を伸ばしたパッケージ基板や複写機などの設計業務の売上が大きく減少いたしました。また、検査部門においては、セラミック基板やパッケージ基板、工作機などの産業機器の基板の検査業務が増加した一方、電波時計に使用される基板や遊技機器に使用される基板の受注が減少いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて1億3千1百万円と前年同四半期と比べ6百万円(4.7%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は8百万円と前年同四半期と比べ2百万円(49.5%)の増益となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ24億1千4百万円増加し、174億6千1百万円となりました。現金及び預金が4億5千万円、受取手形及び売掛金が10億6千1百万円、商品及び製品が2億1千4百万円、仕掛品が1億1千3百万円、原材料及び貯蔵品が1億8千2百万円、その他(流動資産)が3億1百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ8千8百万円増加し、83億4千7百万円となりました。有形固定資産が7千5百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ25億3百万円増加し、258億8百万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ6百万円減少し、91億1千1百万円となりました。短期借入金が12億1千4百万円減少し、支払手形及び買掛金が6億2千万円、1年内返済予定の長期借入金が2億1千万円、その他(流動負債)が3億1千万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ14億6千3百万円増加し、42億6千3百万円となりました。長期借入金が14億3千1百万円増加したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ14億5千6百万円増加し、133億7千4百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ10億4千6百万円増加し、124億3千4百万円となりました。利益剰余金が7億8千7百万円、為替換算調整勘定が2億2百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、59億9千7百万円となり、前年同四半期と比べ23億9千3百万円(66.4%)増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益9億4千4百万円、非資金費用である減価償却費7億4千5百万円、仕入債務の増加額5億8千3百万円及び売上債権の増加額10億6千万円、たな卸資産の増加額4億6千9百万円などにより、営業活動全体として8億8百万円の収入(前年同四半期は5億8千5百万円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有価証券の純増額2億9千6百万円、有形固定資産の取得による支出4億7千1百万円などにより、投資活動全体として7億4千5百万円の支出となり、前年同四半期と比べ支出が3億9百万円(29.3%)の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、長期借入れによる収入23億円及び短期借入金の純減額12億9千7百万円、長期借入金の返済による支出6億5千7百万円などにより、財務活動全体として3億4千1百万円の収入となり、前年同四半期と比べ収入が7億2千6百万円(68.0%)の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を勘案し、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日(平成29年11月10日)公表の「平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績の差異、及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,852,024	6,302,401
受取手形及び売掛金	4,727,359	5,788,377
電子記録債権	614,589	697,548
商品及び製品	772,580	987,468
仕掛品	897,780	1,011,483
原材料及び貯蔵品	1,537,700	1,719,930
未収入金	215,862	219,560
繰延税金資産	3,638	7,039
その他	426,644	728,524
貸倒引当金	△1,240	△1,240
流動資産合計	15,046,939	17,461,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,995,653	1,974,983
機械装置及び運搬具（純額）	3,376,361	3,370,802
土地	1,077,670	1,086,377
建設仮勘定	53,913	173,197
その他（純額）	931,661	904,953
有形固定資産合計	7,435,260	7,510,314
無形固定資産	263,514	252,344
投資その他の資産		
投資有価証券	281,727	278,735
退職給付に係る資産	109,243	124,688
その他	171,772	184,348
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	559,857	584,888
固定資産合計	8,258,632	8,347,547
資産合計	23,305,572	25,808,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,647,324	3,268,063
短期借入金	4,345,940	3,131,000
1年内返済予定の長期借入金	1,102,179	1,312,388
未払法人税等	104,833	97,464
賞与引当金	187,908	261,163
繰延税金負債	4,212	4,501
その他	725,649	1,036,596
流動負債合計	9,118,047	9,111,177
固定負債		
長期借入金	2,194,760	3,626,706
繰延税金負債	263,365	282,509
役員退職慰労引当金	127,941	134,261
退職給付に係る負債	205,065	212,515
その他	8,986	7,339
固定負債合計	2,800,118	4,263,332
負債合計	11,918,166	13,374,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,246,096	2,246,096
利益剰余金	7,187,414	7,974,716
自己株式	△397,733	△397,812
株主資本合計	11,224,736	12,011,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58,030	54,462
為替換算調整勘定	△568,046	△365,502
その他の包括利益累計額合計	△510,015	△311,039
非支配株主持分	672,685	733,210
純資産合計	11,387,406	12,434,131
負債純資産合計	23,305,572	25,808,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	11,993,385	13,123,636
売上原価	10,447,630	10,695,204
売上総利益	1,545,754	2,428,431
販売費及び一般管理費	1,465,485	1,477,365
営業利益	80,268	951,066
営業外収益		
受取利息	11,749	24,010
受取配当金	2,967	2,672
その他	12,203	15,092
営業外収益合計	26,921	41,775
営業外費用		
支払利息	31,764	38,989
為替差損	97,880	11,427
その他	836	—
営業外費用合計	130,481	50,416
経常利益又は経常損失(△)	△23,291	942,424
特別利益		
固定資産売却益	2,531	6,498
特別利益合計	2,531	6,498
特別損失		
固定資産売却損	—	101
固定資産除却損	1,717	4,081
特別損失合計	1,717	4,182
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,477	944,740
法人税等	52,240	125,554
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74,717	819,186
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,810	31,883
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△63,906	787,302

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△74,717	819,186
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,484	△3,568
為替換算調整勘定	△1,253,189	231,185
その他の包括利益合計	△1,263,674	227,617
四半期包括利益	△1,338,391	1,046,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,255,574	986,278
非支配株主に係る四半期包括利益	△82,817	60,525

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,477	944,740
減価償却費	644,333	745,060
有形固定資産除却損	1,717	4,081
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△82	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,112	71,134
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△5,592	6,319
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8,122	6,882
受取利息及び受取配当金	△14,717	△26,682
支払利息	31,764	38,989
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,531	△6,397
売上債権の増減額(△は増加)	△1,785,550	△1,060,082
たな卸資産の増減額(△は増加)	△420,167	△469,056
仕入債務の増減額(△は減少)	884,266	583,706
未払消費税等の増減額(△は減少)	98,277	53,159
その他	66,054	16,371
小計	△502,469	908,226
利息及び配当金の受取額	14,729	26,684
利息の支払額	△31,348	△40,231
法人税等の支払額	△68,469	△88,451
法人税等の還付額	2,199	2,673
営業活動によるキャッシュ・フロー	△585,359	808,901
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△282,563	△275,086
定期預金の払戻による収入	261,577	294,251
有価証券の純増減額(△は増加)	△33,200	△296,178
有形固定資産の取得による支出	△990,002	△471,324
有形固定資産の売却による収入	2,477	9,321
無形固定資産の取得による支出	△19,001	△4,917
投資有価証券の取得による支出	△27,582	△613
投資有価証券の償還による収入	40,000	—
その他	△5,918	△455
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,054,211	△745,003
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,384,525	△1,297,700
長期借入れによる収入	300,000	2,300,000
長期借入金の返済による支出	△605,152	△657,845
自己株式の取得による支出	—	△78
配当金の支払額	△206	△119
非支配株主への配当金の支払額	△6,872	—
その他	△4,242	△2,776
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,068,051	341,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△462,967	63,847
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,034,488	469,225
現金及び現金同等物の期首残高	4,638,493	5,527,985
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,604,005	5,997,210

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,827,545	1,032,752	133,087	11,993,385	—	11,993,385
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11,901	47,799	4,786	64,486	△64,486	—
計	10,839,446	1,080,551	137,873	12,057,871	△64,486	11,993,385
セグメント利益又は損失(△)	93,435	△18,963	5,797	80,268	—	80,268

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,915,450	1,081,235	126,950	13,123,636	—	13,123,636
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,146	35,805	4,437	47,388	△47,388	—
計	11,922,596	1,117,041	131,387	13,171,024	△47,388	13,123,636
セグメント利益	938,614	3,784	8,667	951,066	—	951,066

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。